



報道関係各位

2018年5月10日  
森ビル株式会社

MEDIA SHIP 表参道ヒルズ

# キース・ヘリング生誕60年記念 特別展 Pop, Music & Street キース・ヘリングが愛した街 表参道

～ 表参道で披露したパフォーマンスの写真を8月9日（木）から世界初公開 ～

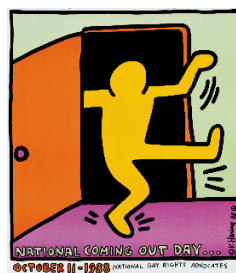
表参道ヒルズは、8月9日（木）から8月19日（日）の期間中、本館B3F スペース オーにて、2018年に生誕60年を迎える伝説のストリートアーティスト、キース・ヘリングの特別展「Pop, Music & Street キース・ヘリングが愛した街 表参道」を開催します。

ウォーホルやバスキアなどと同様に、1980年代のアメリカ美術を代表するアーティスト、キース・ヘリング。ニューヨーク地下鉄構内の広告板に落書きをする《サブウェイ・ドローイング》というグラフィティ・アートで一躍脚光を浴びた彼は、1990年に31歳の若さで亡くなるまで、絵画や彫刻、アニメーション、レコード・カバーに至るまで幅広い作品を残しました。中でもポスター・アートに注目したヘリングは、核放棄やエイズ予防、LGBTのカミングアウトを促すナショナル・カミングアウト・デーなどの社会的な作品から、アブソルート・ウォッカやスウォッチなどの商業的な作品まで、ポスターだけで100点以上を制作しました。また、「アートはみんなのもの」をモットーに、1986年にオリジナルグッズを発売する《ポップショップ》をニューヨークに開店。1988年にはニューヨークの1号店に続き東京・青山にもショップをオープン。当時ストリートパフォーマンスが流行していた表参道の歩行者天国で、路上にチョークでドローイングをするパフォーマンスも行い、話題を呼びました。

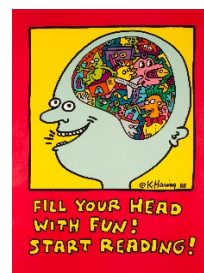
本展では、中村キース・ヘリング美術館が所蔵するオリジナル・ポスターをはじめ、ハウスミュージックやパンクロックのレコード・カバーなど、約70点を東京で初展示。また、彼が表参道の路上にドローイングする貴重な姿を捉えた秘蔵写真約30点を世界初公開します。その他、会場内には《ポップショップ》を彷彿させるブースが登場し、グッズ販売も実施。アートを通して多くの人とコミュニケーションをとりたいという願望を持っていたヘリングが、ドローイングのパフォーマンスを通し、人々と言葉を超えたコミュニケーションを図った思い出のストリート、表参道。そのシンボルとして、アートやカルチャーを発信し続ける表参道ヒルズで開催される本展にて、ヘリングが生涯をかけて送り続けたメッセージに思いを馳せつつ貴重な作品の数々をご堪能ください。



表参道で披露したパフォーマンスの写真(世界初公開) 1988  
Photo by © Akira Kishida



ポスター  
National Coming Out Day...  
1988



ポスター  
Fill Your Head with Fun!  
Start Reading!, 1988

**<本件に関する報道関係の方のお問合せ先>**

表参道ヒルズPR事務局：門本・相田・近江

[TEL] 03-4574-6250 [FAX] 03-3265-5058 [MAIL] omotesandohills@ozma.co.jp

森ビル株式会社 表参道ヒルズ運営室 プロモーションチーム：大野谷

[TEL] 03-3497-0292 [FAX] 03-3497-0318

## 開催概要

- タイトル：キース・ヘリング生誕60年記念 特別展  
「Pop, Music & Street キース・ヘリングが愛した街 表参道」
- 期間：2018年8月9日(木)～8月19日(日)
- 時間：11:00～21:00(入場は閉場30分前まで)  
※8月12日(日)は20:00まで 最終日8月19日(日)は18:00まで
- 場所：表参道ヒルズ 本館B3F スペース オー
- 内容：◇ヘリングが表参道の路上にドローイングする姿を捉えた秘蔵写真約30点を世界初公開  
◇生前に制作されたオリジナル・ポスター58点、レコード・カバー13点を展示  
◇《ポップショップ》を再現したブースで世界中から集めたキース・ヘリンググッズを販売
- 入場：無料
- 主催：表参道ヒルズ
- 特別協力：中村キース・ヘリング美術館
- 宣伝美術：Cap
- 問合せ：03-3497-0310 (総合インフォメーション)

## 展示内容

会場では下記①～④の内容の展示を実施予定です。

### ①Pop

ヘリングが手がけたオリジナル・ポスターを58点展示。核放棄、反アパルトヘイト、エイズ予防や、LGBTのカミングアウトを促すナショナル・カミングアウト・デーなどの社会的な作品から、アブソルート・ウォッカやスウォッチなどの商業的な作品、展覧会やクラブ・イベントの告知等、多様なオリジナル・ポスターを展示。



ポスター  
Keith Haring for Emporium  
Capwell, 1985

### ②Music

ヘリングがデザインを手がけたハウスミュージック、パンクロックやヒップホップなどのレコード・カバーを13点展示。



ポスター  
Club DV8 Unveils the Keith  
Haring Room, 1986

### ③Street

1983年の初来日をきっかけに日本文化に心を奪われたヘリング。1988年には東京・青山で《ポップショップ東京》を開店したほか、表参道の歩行者天国にて、路上にチョークでドローイングを実施。その当時の秘蔵写真約30点を世界初公開。

### ④POP SHOP

《ポップショップ》を再現したブースで世界中から集めたキース・ヘリンググッズを販売。東京ではここでしか手に入らないグッズ販売コーナーを展開。



レコード・カバー  
Duck Rock, Malcolm McLaren, 1983

### キース・ヘリング(1958-1990)

1980年代のアメリカ美術を代表するアーティスト。ニューヨークの地下鉄構内の広告板を使った《サブウェイ・ドローイングス》というグラフィティ・アートで一躍脚光を浴びる。絵画や彫刻、アニメーション、舞台デザイン、壁画、ポスター、レコード・カバーのデザインやグッズを販売する《ポップショップ》に至るまで、制作活動は多岐に渡る。世界中の子ども達とのワークショップを開催するなど社会的なプロジェクトも多く手がけた。1988年にAIDSと診断され、翌年に恵まれな子ども達への基金やHIV/AIDS 予防啓発運動を継承していくための財団を設立。1990年31歳で亡くなるまで、アートを通して社会活動にも積極的に関わった。

